

(4) ジャンクション周辺のまちづくり (第3回ワークショップの記録)

1) グループ1の記録 (参加者6名)

テーマC: ジャンクション周辺地域の特性・資源

【議論の概要】

農や緑を活かしたまちづくりを進めるにあたり、生産緑地制度の課題や農地を面的に保全する制度がないという課題が議論された。地域の農業者の方からは、相続の際は莫大な税金がかかり、農地の一部を手放して、相続税を支払わざるを得ないという話も語られた。大規模な土地の買い手は住宅ディベロッパーが主で、用途を縛りすぎると土地が売れなくなったり、価格が下がってしまうことが懸念としてあげられた。

上述のような課題はあるが、北野地区の特性・資源として、広く肥沃な土のある畑、屋敷林などの樹木、建物も低層で開けた空などがあげられた。

また、駅への交通は不便だが、現在の生活道路は価値があるという話がされた。

【重要と思われる意見】

- ①畑について 広い農地、肥よくな土、相続などの問題【6枚】
- ②樹木と緑について 大きな木、竹林、雑木林、屋敷林【10枚】
- ③景観について 見晴らしが良い(富士山が見える)、低層の住宅(一步裏に入ると静閑)、中川遊歩道【10枚】
- ④現況の道・交通について 生活用の道路(車・人・自転車)、駅への交通が不便【7枚】

【話し合いの全意見】

■畑について 広い農地、肥よくな土、相続などの問題

- ・広い畑
- ・肥よくな土がある
- ・特性 広い農地がある
- ・土に親しめる
- ・農地の相続を行政が絡んで考える必要がある(農業公園など)

■樹木と緑について 大きな木、竹林、雑木林、屋敷林

- ・大きな木が多い
- ・竹林を残して
- ・雑木林 屋敷林
- ・資源 雑木林、大きな樹

■景観について 見晴らしが良い(富士山が見える)、低層の住宅(一步裏に入ると静閑)、

中川遊歩道

- ・高い所から富士山が見える
- ・低層の住宅 一歩裏に入ると静かな
- ・中川遊歩道

■現況の道・交通について 生活用の道路（車・人・自転車）、駅への交通が不便

- ・駅への交通が不便
- ・緑や畑が多いイメージ（資源）
- ・出来るだけ今の生活に近いスタイルを
- ・道路（生活用）車・人・自転車

テーマD：将来のジャンクション周辺地域のまちづくり

【議論の概要】

議論は、「北野をまあるくつなぐ回遊ルート」のアイデアに集約された。地域には屋敷林などの緑や直売所、地場野菜を使った隠れ家的レストランもあるらしい。また、市民の方がちょっとした教室や小さなお店を開くことも考えられる。それらの中川遊歩道や既存の道を活かして整備した回遊ルートでつなぎ、ウォーキングなどをしながら楽しむというアイデアである。新たに道の駅のような施設をつくるのではなく、既存の資源をつなぎ合わせ、全体で道の駅のような機能を担えると良いという議論が行われた。

【重要と思われる意見】

- ①農地について レンタル農地、長期間使える市民農園、虫喰い状態の開発抑制【8 枚】
- ②遊歩道について 北野をまあるくつなぐ遊歩道、道沿いに住民参加できるショップ【19 枚】
- ③樹林について 親子で遊べる公園や大規模な緑地、塀は生垣に【5 枚】
- ④飲食店について 地場野菜を使ったレストラン、古民家利用も【10 枚】
- ⑤ルールについて 緑豊かな北野のイメージを残すルール（建物・農地・林）【6 枚】

【話し合いの全意見】

■農地について レンタル農地、長時間使える市民農園、虫喰い状態の開発抑制

- ・農地を守るルール化（肥料、家畜、豚、にわとり）可能地域
- ・レンタル農地
- ・農地を自由に貸せる特区にする
- ・長期間使える市民農園
- ・虫喰い状態の開発を抑制する

■遊歩道について 北野をまあるくつなぐ遊歩道、道沿いに住民参加できるショップ

- ・中川遊歩道周遊型
- ・ウォーキングルートとして整備
- ・中川遊歩道を北野を一周する歩道にする
- ・世田谷区のお寺と連携した観光
- ・遊歩道に手作りショップ 若い人に場所を提供して他地域から募集
- ・回遊道周りに分散型道の駅 住民参加型
- ・道の駅では供給しきれないので、遊歩道などに点在する店や直販所がある
- ・新規の道路を作る時にショップを置ける遊歩道も整備する
- ・点在する店が毎日やっているとは限らない。そこが宝探しの楽しい

■樹林について 親子で遊べる公園や大規模な緑地、塀は生垣に

- ・親子で遊べる公園作り
- ・大規模な緑地公園計画を作る
- ・住宅の塀は生垣にする

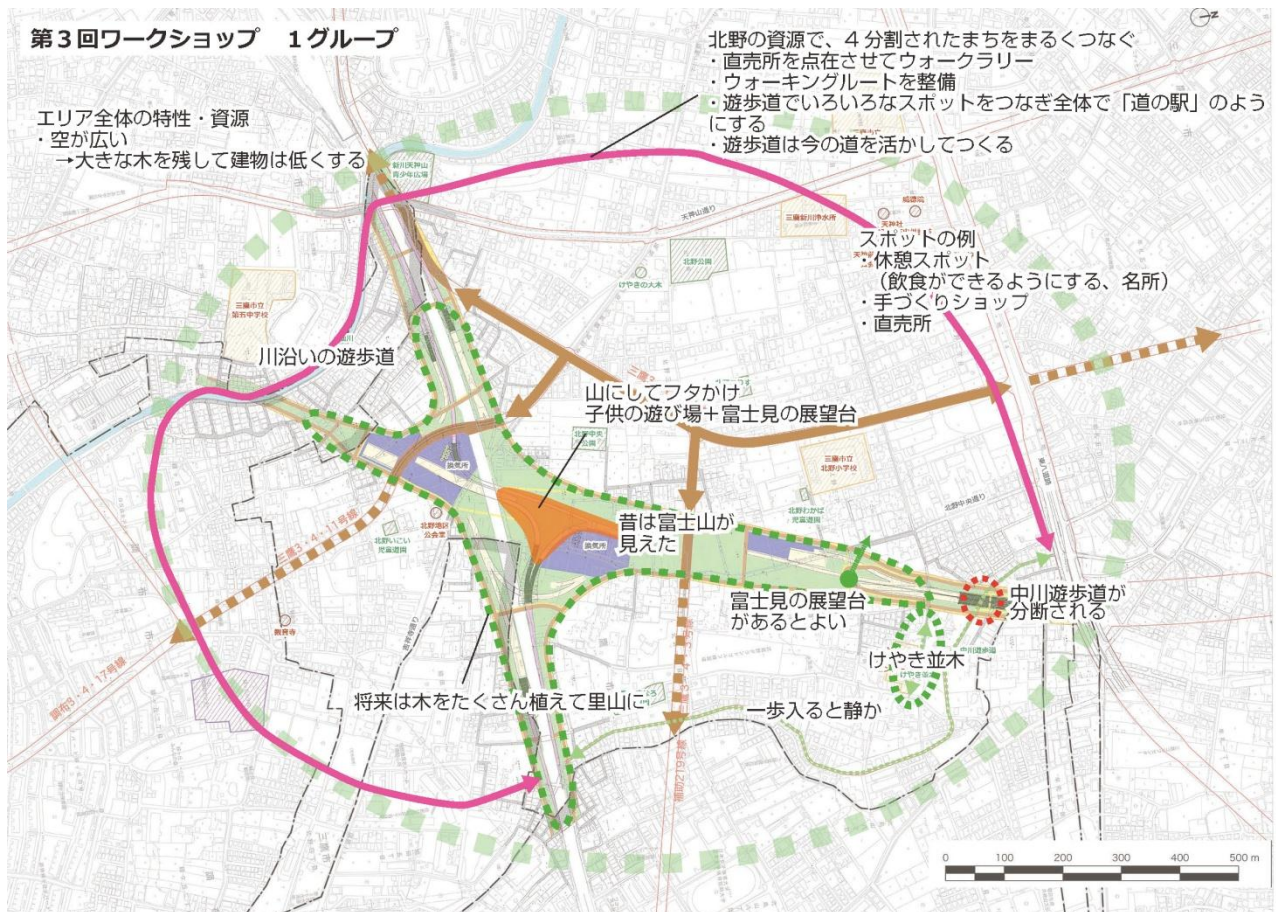
■飲食店について 地場野菜を使ったレストラン、古民家利用も

- ・地場産野菜を使ったレストランを作る
- ・レストラン 地場野菜や玉子を使って、他の土地の人に食べに来てもらう 野菜も売る
- ・和・洋・中（地場食材を利用）
- ・古い民家を再利用 レストラン ショップ（手作り）

■ルールについて 緑豊かな北野のイメージを残すルール（建物・農地・林）

- ・自販機の色を統一する（地域に合った）
- ・農地、林などを運営できる町のルール作り
- ・高い建物に規制をかける
- ・道路が便利になると色々な人が集まって来るので、生活や住宅についての“ルール”作りが必要では
- ・駐車場を整備する

第3回ワークショップ 1グループ



2) グループ2の記録（参加者5名）

テーマC. ジャンクション周辺地域の特性・資源

【議論の概要】

ケヤキ並木や桜並木がいいという意見があがったが、一方で樹木を所有されている方から、近隣からの落ち葉の苦情を受けて強剪定しなくてはならなくなり、また剪定にかかる費用負担も大きいという実情を知ってもらいたいと話題提供があった。天神山通りに新たに植えられた桜並木も、近隣の苦情で桜が細くなるほど剪定されている。こうした維持管理の事も見据えた上で、既存の並木を守り増やしていくことが大切という議論になった。

農地が北野地域の大切な資源であるという意見もあった。現在ジャンクションの用地に農地を持っている人は代替地で農業を続ける人もいるという話題提供があった。北野小学校周辺の学校菜園を大切に、できれば収穫祭などに大人も参加できるような機会があるとよいというアイデアも出た。

プレイパークの様に、花火やBBQの様な火を使った行事ができる場も貴重だという意見があった。ボーイスカウト、ガールスカウトが活動できる場、球技ができる広場なども大切にしたいという意見があった。

新川天神山青少年広場、北野公園、北野あすなろ児童遊園の雑木林も大切な資源だという話が出た。雑木林の四季を楽しみたいという話や、カブトムシが集まるメタセコイアを植えると、子どもたちが喜ぶ場所になるというアイデアが出た。

北野地域の人口構成について、高齢者も多いが子どもが増えており、町会は新しい住民を受け入れる体制があることも北野の特徴であるという話が出た。ジャンクションができるとわかっていても、緑が多い環境を気に入って、マンションや戸建住宅に移り住んでいる人が増えている事は、未来に向けた地域の人的資源としてとらえる事ができるのではないかという話が出た。また高齢者に非常に元気な人が多いのも地域の自慢であり、新旧住民が共に元気であることがキーワードとなった。

【重要と思われる意見】

- ①歴史あるけやき並木や美しい桜並木を増やし続けたい【11 枚】
- ②様々な遊びができる広場を残したい。花火、BBQ、球技、ボーイスカウトなど【8 枚】
- ③これからも採れ立て野菜が採れる畑を残して欲しい（学校農園も大事）【13 枚】
- ④これからも四季を感じられる雑木林を残して欲しい【9 枚】
- ⑤昔から住んでいる人も、移り住んできた若い人も元気がある【5 枚】

【残したい意見】

- ①雑木林にメタセコイア（カブトムシが集まる木）を植える。落ち葉を集めて腐葉土に。
- ②緑の維持管理をするシステム

【話し合いの全意見】

- 歴史あるけやき並木や美しい桜並木を増やし続けたい
 - ・ 歴史あるけやき並木（北野ハピネスセンター）
 - ・ 天神山通りの桜並木（新川）
- 様々な遊びができる広場を残したい。花火、BBQ、球技、ボーイスカウトなど
 - ・ サッカー、野球ができる広場
 - ・ ボーイスカウト、ガールスカウトの活動ができる
 - ・ 花火、BBQ など火を使った遊びができる
- これからも採れ立て野菜が採れる畑を残して欲しい（学校農園も大事）
 - ・ これからも農地はどう変わってくるか
 - ・ 農地は残っている様子で！！
 - ・ 学校農園大事にしたい→収穫祭とかまでできないか
- これからも四季を感じられる雑木林を残して欲しい
 - ・ 雑木林、並木通の落葉の管理が大変→腐葉土集め→利用
 - ・ 雑木林のある公園が多い（北野公園、あすなろ児童公園、新川天神山広場）
 - ・ これからも四季を感じられる
- 昔から住んでいる人も、移り住んできた若い人も元気がある
 - ・ 環境悪化のけねんもあるにも関わらず
 - ・ 若い人が住んでいる、増えている
 - ・ 新婚さん
 - ・ 若い世代が移り住む
- 雑木林にメタセコイア（カブトムシが集まる木）を植える。落ち葉を集めて腐葉土に。
 - ・ メタセコイアを植える（カブトムシが寄ってくる木）
- 緑の維持管理をするシステム
 - ・ 緑の維持管理をするシステム 個人財産→公共的

テーマD. 将来のジャンクション周辺地域のまちづくり

【議論の概要】

グループ2では、運送業などのトラックが多く利用するであろうジャンクションの出入口が周辺の住環境に影響を与えないように、緑のカーテンや植栽などを設ける必要があるという意見が出た。

開発で減少する地域の緑を補完するために、大規模マンションを建設する際は、屋上緑化をす

るよう義務づけてはどうかという意見があった。また、マンションなどがあまり高層化しない様に、高さの制限をしてはどうかという意見が出たが、土地所有者の目線では高くしたくない人はいないのではという意見もあり、ポストイットには反映されなかった。

農地がある環境を、地域に住む人が実感し、楽しむ事ができるのは、直売所がある風景であり、新鮮な野菜が手に入る環境であるということから、直売所を農地や住宅地に設けてはどうかというアイデアが出た。

地域のつながりが強い北野だが、ジャンクションで分断されることへの懸念があげられた。そのため、コミュニティをつなぐ拠点となる施設がほしいという意見が出た。書き出しには、「コミセン」と書かれたが、具体的にはこの地域に現在無い児童館の機能が求められている。子どもが増えているが、幼稚園も1つしかなく、子ども向けの施設が必要という意見も出た。

また、ジャンクション南側に住む子どもが北野小学校に通うのが大変だということも懸念されている。安心して学校に通えるような蓋かけ部分のアクセスが求められている。

自転車専用道路が整備されると良いという意見もあったが、予定している幅員では狭いのではないかという意見も出た。

【重要と思われる意見】

- ①JCT 出入口周辺の樹木や植栽を整備して緑のカーテンを作って欲しい【6 枚】
- ②大規模マンションに屋上緑化を義務化【2 枚】
- ③野菜の直売所を設置（農地の前、住居のそば）【14 枚】
- ④分断されてしまう地域をまとめる「北野コミセン」が欲しい（保育園・児童館が入っている）【9 枚】
- ⑤地域に住んでいる人が使いやすい道路整備をして欲しい（通学路、バス路線、自転車道）【7 枚】

【話し合いの全意見】

■JCT 出入口周辺の樹木や植栽を整備して緑のカーテンを作って欲しい

- ・JCT の近く 郊外店が多いが
- ・緑で生活地域と商業地域をわけ
- ・緑のカーテン（排気ガスバリア）
- ・トラックがJCT の周り駐車しないように
- ・JCT 周辺にトラックの違法駐車 郊外の店の出店が多いが
- ・道路沿いの道を整備して緑のカーテンを

■大規模マンションに屋上緑化を義務化

- ・屋上緑化を推進

■野菜の直売所を設置（農地の前、住居のそば）

- ・野菜の自販機（農業が盛ん）直売所

■分断されてしまう地域をまとめる「北野コミセン」が欲しい（保育園・児童館が入っている）

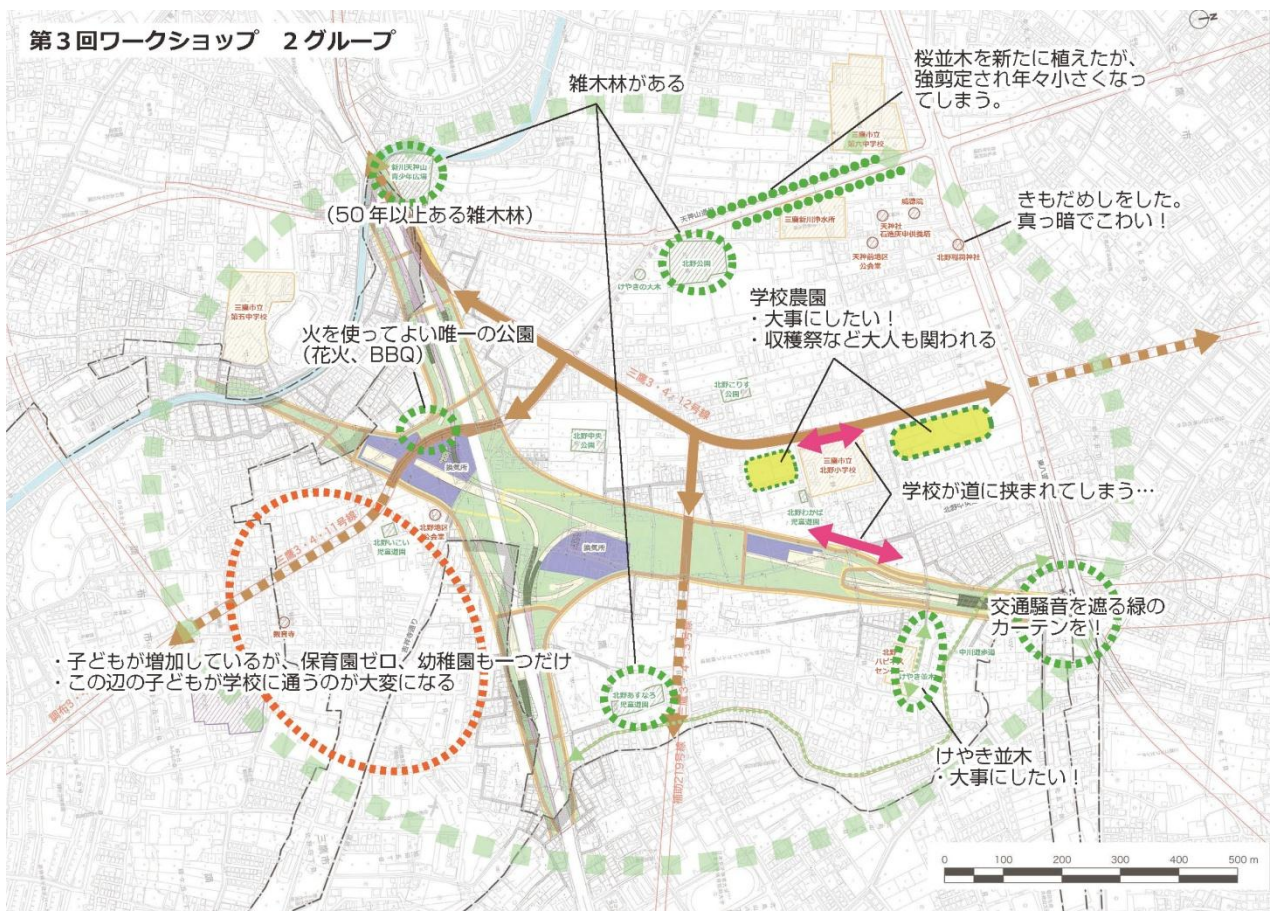
- ・北野地区のコミュニティの力（4 分断されてしまっても何か行事等によって守れないか…）
- ・JCT ができて北野地区が 4 つに分断されてしまった
- ・北野コミセンが欲しい！←公会堂はあるけど
- ・他の地域のようにコミセンが欲しい
- ・保育園が欲しい！！
- ・公会堂の広場がなくなってしまう
- ・JCT ができて北野地区が4つに分断されてしまう

■地域に住んでいる人が使いやすい道路整備をして欲しい（通学路、バス路線、自転車道）

- ・通学路の整備（通学大変）
- ・JCT ができて吉祥寺通りが分断されてしまう
- ・バス路線の整備

■その他

- ・自転車道



3) グループ3の記録（参加者7名）

テーマC. ジャンクション周辺地域の特性・資源

【議論の概要】

ジャンクションが整備された後も、北野らしさを残すことが必要である、という議論から、馬車道や農道、畑や田んぼなど、昔ながらの農風景をあえて再現し、残すことが重要であるという意見があがった。関連して、蓋かけ上部空間を無理に使わず、現在北野に点在する農家で、地方へ行かず東京で農業体験できるシステムをつくることが、農家を残す手段となるという意見もあがった。同様に点在する野菜の無人販売所も、目に見える食を大切にし、地産地消できるものとして、残していきたいという話が出た。参加者に北野地域在住の方が少なかったため、実生活上の利便性以上に、自然の残る北野らしさの継続が、議論全体に渡るコンセプトになっていた。

北野遊び場広場でプレイパークを運営している参加者がいたため、子どもが自然に、自由に遊べる遊び場の重要性を共有した。遊び場を残す（新たに設ける）上で、ほどよい起伏や自然のある、北野らしい環境が求められていた。

また、けやき並木・桜並木や北野公園、新川天神山青少年広場などの雑木林を生かした空間や、カワセミなどが見られる仙川など、今ある自然の資源を大切にしたいという意見が共通していた。

【重要と思われる意見】

- ①桜並木・ケヤキ並木を残す。（土の道・公園）【16 枚】
- ②北野の農風景を残す。（雑木林・宿泊農体験・無人販売）【4 枚】
- ③古民家的な家並・神社・寺院を残す。【3 枚】
- ④仙川の自然を残す。（カワセミ・ホタル）【18 枚】
- ⑤プレイパーク（三鷹風）、子供の遊び場を残す。【8 枚】

【話し合いの全意見】

■桜並木・ケヤキ並木を残す。（土の道・公園）

- ・桜並木 けやき並木
- ・屋敷林 土の道
- ・公園と並木を残す
- ・雑木林を残す。

■北野の農風景を残す。（雑木林・宿泊体験・無人販売）

- ・無人販売を残す
- ・北野の特産物を作る。
- ・農家を生かして宿泊農体験施設にする
- ・北野の農風景として古い物は残す。

■古民家的な家並・神社・寺院を残す。

- ・古民家的な家並みがあるといい！
- ・神社、寺院
- ・バス 交通アクセス

■仙川の自然を残す。(カワセミ・ホタル)

- ・カワセミが生活出来る川

■プレイパーク（三鷹風）、子供の遊び場を残す。

- ・プレイパーク的子どもの遊び場

■その他

- ・不便でもいい！
- ・（宿泊施設）古民家を利用した農作り
- ・電線を地下へ
- ・“土”の活用
- ・北野の特長を持つ地域にする。
- ・小さな庭 野

テーマD. 将来のジャンクション周辺地域のまちづくり

【議論の概要】

テーマC同様、北野らしさをどう残すのか、という考えを基に話が進行した。

ジャンクションができると共に、東八道路沿いや、計画されている三鷹3・4・12号線などに、大型店舗やロードサイド店舗などができると、北野での地産地消が脅かされるのではないかと、という懸念があがっていた。この懸念に関連し、若い世代が北野に住み、北野で生活や消費活動を循環することのできる（期待できる）環境づくり、システムづくりが将来にわたって重要なことであるという意見があがった。地域の中での循環を考える上で、世代間のコミュニケーションを取ることでできる場やシステムが必要であるという意見もあった。「地域に密接したレストラン」という意見も、チェーン系レストランに対する地産地消レストランという意味合いで意見が出ていた。一方、生活上の利便性を考え、スーパー等が近隣にある方がよい、とする意見もあった。

テーマCでもあがった、並木など今ある自然の重要性についても再度意見が出され、北野小学校をはじめとした学校の通学路等に、近隣の並木から延伸する形で並木をつくりたいという意見があった。また道路の整備にあたって、日差しを避ける、場所によっては土の道にして蓄熱を避ける、歩行者が安全に歩ける、といった、生活者視点からの意見が多くあがっていた。

【重要と思われる意見】

- ①農風景のある街並（昔の農風景の再現、馬車道、あぜ道、体験宿、電柱を無くす、大

型建物に緑確保)【7枚】

- ②地産地消の施設(市民交流施設を兼ねたクラインガルテン(花壇・農園)、農作物の販売所)【7枚】
- ③道路整備(歩行者が安全で季節を感じられ、夏の陽ざしを避けられる並木、自転車が安全で利用しやすい道路)【7枚】
- ④地域コミュニティ(住民主体、子供が運営するお店、子供が発信する場所、世代間で協力しながら生活できるシステム)【9枚】
- ⑤地域に密接したレストラン(地産、第一種中高層住居専用地域の見直し)【6枚】

【残したい意見】

- ①商業施設(お年より、共稼ぎ家庭が利用できるスーパー等)

【話し合いの全意見】

- 農風景のある街並(昔の農風景の再現、馬車道、あぜ道、体験宿、電柱を無くす、大型建物に緑確保)
 - ・東京で農業体験宿を現農家で実施する
 - ・数十年前の農風景の再現
 - ・電柱を無くす。地下共通溝
 - ・農道、馬車道、畑、田んぼ、あぜ道
 - ・大型建造物を建設する際に緑の確保を必須とする
- 地産地消の施設(市民交流施設を兼ねたクラインガルテン(花壇・農園)、農作物の販売所)
 - ・地産地消の農産物の店
 - ・野菜、フルーツの販売所を作る。
 - ・市民交流施設(花だん、農園)クラインガルテン
 - ・農作物販売所
- 道路整備(歩行者が安全で季節を感じられ、夏の陽ざしを避けられる並木、自転車が安全で利用しやすい道路)
 - ・歩行者が安全に歩ける並木道
 - ・夏の日ざしを避けられる並木
 - ・季節を感じられる並木(特に通学路)
 - ・自転車の利用しやすい安全な道路
 - ・サイクリングロードを作る。並木の下、土のある。
- 地域コミュニティ(住民主体、子供が運営するお店、子供が発信する場所、世代間で協力しながら生活できるシステム)
 - ・住民主体の施設 コミュニティセンター

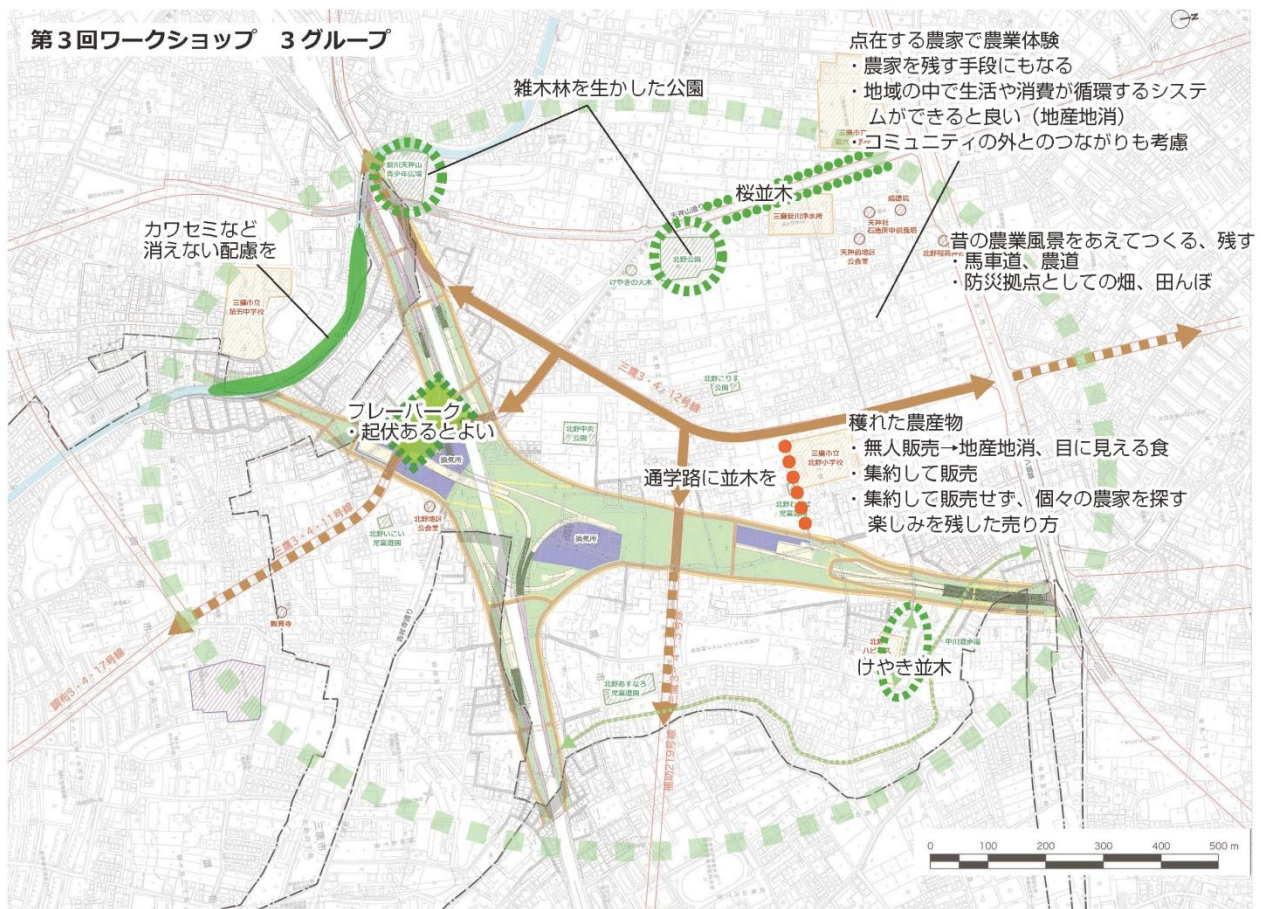
- ・子どもが運営するお店 子どもが発信する場所
- ・世代間で協力しながら生活できるシステム

■地域に密接したレストラン（地産、第一種中高層住居専用地域の見直し）

- ・レストラン等が可能になる様第一種中高層住居専用地域の見直し
- ・地産レストラン

■商業施設（お年より、共稼ぎ家庭が利用できるスーパー等）

- ・商店スーパー施設が必要（買物に不便）
- ・お年より、共稼の人が利用できる、スーパー等がほしい。



4) グループ4の記録（参加者6名）

テーマC. ジャンクション周辺地域の特性・資源

【議論の概要】

今ある地域の資源をすべて活かし、三鷹の「原風景」が感じられる地域にしたいという前提のもと、ジャンクション周辺地域の特性として最も注目されたものは街路樹であった。ジャンクション周辺のけやき並木や桜並木を活かし、新設する道路においても、並木をつなげたいという意見があげられた。また、蓋かけ上部部分に人を集めるために、並木をつなげて誘導を図ることもねらいとしている。同様に、道路整備についても歩行者にとって歩きやすく、蓋かけ上部部分を訪れた人が、周辺を歩きたくなる、歩きやすくなるような整備が求められた。

北野公園をもっと活用したいという意見もあげられ、公園の面積を東側に拡張し、今ある公園の遊具等を残しながら、さらなる使いやすさの向上を目指す意見がみられた。

また、北野地区では人のつながりの深さも注目され、ジャンクションが整備されることで町会が4つに分断されることが心配という意見があげられ、町会の分散を避け、高齢者や児童が自由に交流できる施設が欲しいとの意見があった。

【重要と思われる意見】

- ①新設道路（都道）・統一並木（けやき、サクラ（そめいと河津さくら？）他）【8枚】
- ②道路整備（電柱地中化、自転車専用、段差なし、照明は環境を考えて、バリアフリー化）【4枚】
- ③北野環境 北野風景住宅と農地の原風景を残す【20枚】
- ④北野公園整備 東へ拡張して（トイレ、遊具、街灯、ベンチ、高齢者と子供のいこい）、くぬぎ林【6枚】
- ⑤コミュニケーション（北野町会の市民分散をさける、高齢、児童との出会いの場）【4枚】

【残したい意見】

- ①並木祭りを行なえたら（サクラ、カワズサクラ）イベント
- ②蓋かけ部分への誘道はかる

【話し合いの全意見】

■北野環境 北野風景住宅と農地の原風景を残す

- ・北野の地名らしくのどかな風景をつくる。残す。資源として
- ・自然 活動 農 コミュニケーション 文化 北野の資源

- 道路整備（電柱地中化、自転車専用、段差なし、照明は環境を考えて、バリアフリー化）
 - ・電柱は地中化し風景をこわさない（共同溝をつくる）
 - ・自転車の専用道路を併設する
 - ・段差をなくする
 - ・環境をこわさないように照明を考える
- 北野公園整備 東へ拡張して（トイレ、遊具、街灯、ベンチ、高齢者と子供のいこい）、くぬぎ林
 - ・北野公園を使いやすくする（トイレ、遊具、街灯）
 - ・北野公園の東側畑地を公園として広げ、ベンチ、公衆便所を設ける
 - ・北野公園に高齢者と子供のいこいの場
- コミュニケーション（北野町会の市民分散をさける、高齢、児童との出会いの場）
 - ・北野町会の市民が分離されないように
 - ・イベントを行ない老人、児童のコミュニティーでの出会い
- 新設道路（都道）・統一並木（けやき、サクラ（そめいと河津さくら？）他）
 - ・三鷹3・4・12、3・4・11、3・4・3 都道サクラ（ソメイ） 並木カワズサクラ
 - ・桜・河津桜を交互に植え並木通りを！！
 - ・街路樹は調和のとれた同種の花木を植える（ただしヨシノ桜、カワズ桜は同種とする）
 - ・けやき並木の延長
 - ・けやき並木を外観測道に 統一したけやき
- 並木祭りを行なえたら（サクラ、カワズサクラ）イベント
 - ・道路や街路樹を使っておまつり、イベント
 - ・人を呼ぶ（ジャンクション）

テーマD. 将来のジャンクション周辺地域のまちづくり

【議論の概要】

テーマ C でも話題にあがった並木について、昭和記念公園のような並木をつながたいという意見があげられ、同様に、テーマ C で話題にあがっていた歩きやすい道づくりについて、バリアフリー化などが求められ、景観的な視点では、ガードレールの色を北野らしい色彩にするというアイデアもみられた。

建物用途の制限としては、性風俗を営む店舗や大型トラックの集配所などは、住みやすい住環境の北野地区にはふさわしくないとの意見があがった。一方、農産物の直売所や飲食店、温泉など、ジャンクションの目玉となる機能を積極的に誘致したいという意見もみられた。

建物のデザインとしては、スカイラインや色彩は最低限そろえたいという意見がみられ、建物の中層部以上では、ベランダに共通のプランターを設置できるとよいというアイデアもみられた。

【重要と思われる意見】

- ①北野の里周辺の並木（昭和記念公園の様なメージ）【5 枚】
- ②北野地区の安全にあるける歩道（ガードレールの色を統一する）、車イスに配慮【9 枚】
- ③北野地区・建物用途の規制 看板（ラブホテルまがいの建物・大型トラックの集配所など）【17 枚】
- ④北野地区・目玉となる施設（農産物直売所、休憩できる飲食店、温泉など）【2 枚】
- ⑤建物のデザイン（高さ、色、花ベランダに）【2 枚】

【残したい意見】

- ①建物 スカイライン揃える、上の階は花を出す、色彩も揃える

【話し合いの全意見】

■北野の里周辺の並木（昭和記念公園のようなイメージ）

- ・自転車ロード
- ・けやき並木には整備にあたっては昭和公園の例にならう

■北野地区の安全にあるける歩道（ガードレールの色を統一する）、車イスに配慮

- ・北野の里をめぐる安全な歩道づくり
- ・自転車専用道路をつくり安全を守る
- ・地域内のガードレールを北野の里らしい色に統一

■北野地区・建物用途の規制 看板（ラブホテルまがいの建物・大型トラックの集配所など）

- ・ラブホテルまがいの建設の禁止
- ・トラック出入りの多い集配所倉庫の設置を禁止する

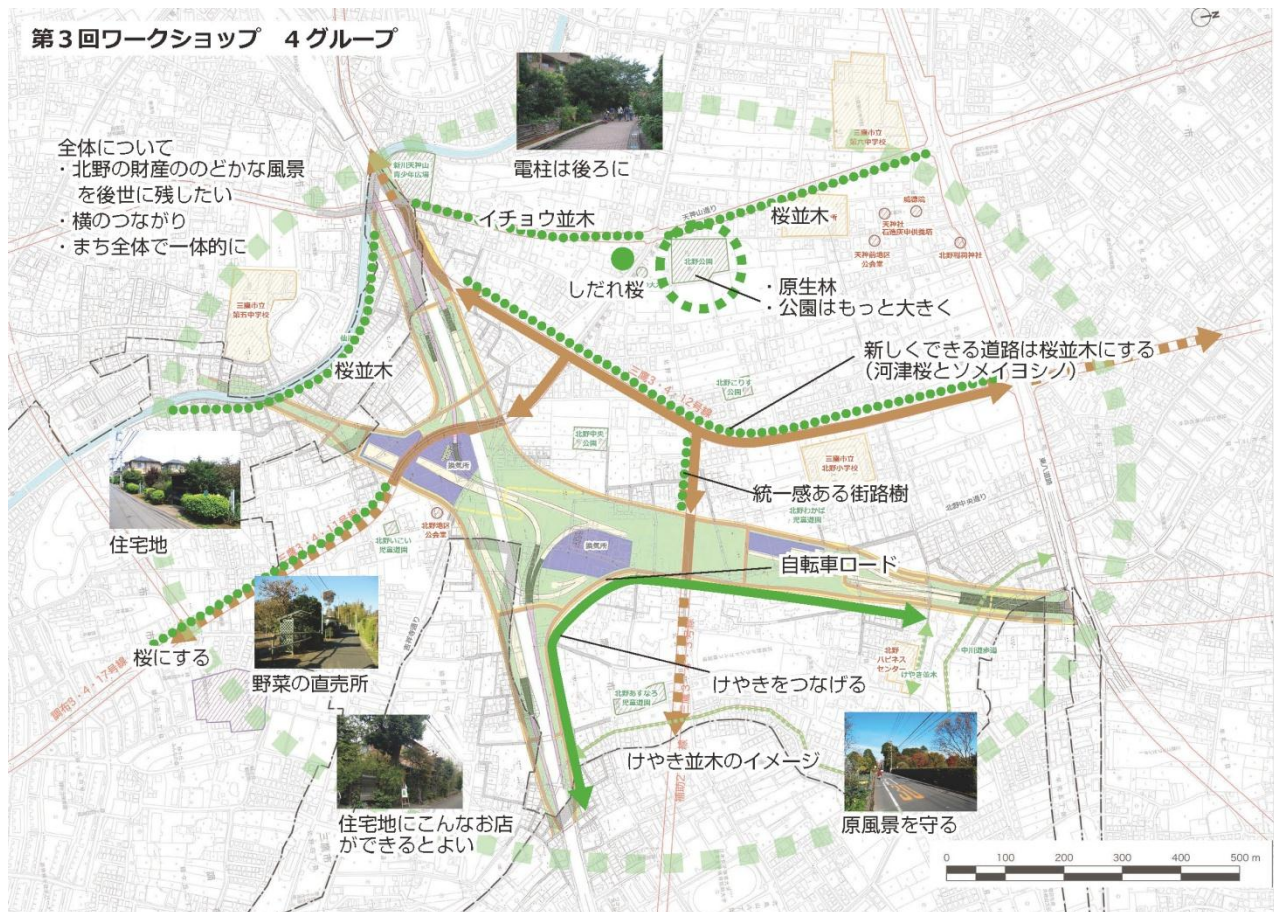
■北野地区・目玉となる施設（農産物直売所、休憩できる飲食店、温泉など）

- ・直売所
- ・2F以下のコーヒー店など休憩できるところをつくる（和風づくり）
- ・温泉やSpaを東八ぞいにつくる（深堀りボーリング）

■建物のデザイン（高さ、色、花ベランダに）

- ・新道路側は建物の高さ制限
- ・建物の統一（屋根の色）
- ・高層ビルなら花植を義務づける

第3回ワークショップ 4グループ



5) グループ5の記録（参加者5名）

テーマC. ジャンクション周辺地域の特性・資源

【議論の概要】

参加者に北野地域内の農業従事者がおり、地域内での農業事情などを話していただいた。周辺地域には「若い世代の農業従事者も多く、みんなやる気で頑張っている」この話を基に、地域にとって不必要なもの以外は、極力現状を維持することが望ましいとの意見でまとまった。（地域の人の生活環境への影響を与えないような配慮）

これを前提とした課題も出され、良好な雑木林や既存木を残したり、新たな並木をつくることは、景観や環境面では良いが、日陰や落葉など農地への影響もある。また、見通しなど防犯面での課題も出てくるので一緒に考えておく必要がある。また、景観の視点から沿道の建物の高さについては、周辺の景観に配慮して現状の高さ基準を変えない方が良いという意見が出された。

【重要と思われる意見】

- ① 地域住民が望まないもの以外は基本は全て残す【18枚】
- ② やむをえずうしなう緑は代替を検討する【6枚】
- ③ 建物の高さ制限を現在と同じとする【11枚】
- ④ 雑木林等は、管理(落葉対策)・防犯の観点に配慮する【7枚】

【残したい意見】

- ① 整備は、国と三鷹、調布、世田谷で十分協議する
- ② 他地域にお住まいの方々が北野の住民のことを考えた、話をしてくれていることが素晴らしい。 (北野お住まいの方の意見)

【話し合いの全意見】

■ 地域住民が望まないもの以外は基本は全て残す

- ・ 周辺地域には可能な限り手を入れない(全て残す)
- ・ 並木等は地域住民に十分配慮する(管理・防犯等)
- ・ ふたかけ部分に公園等を作ると思うが、それにより今ある公園をなくさないようにしてもらいたい。

■ やむをえずうしなう緑は代替を検討する

- ・ 補償道路でつぶれる農地などはジャンクション内部に移転
- ・ 現状の農地の面積は確保し、市民農園を拡大する。

■ 建物の高さ制限を現在と同じにする

- ・ 建物の高さ制限を現在と同じ数字のまま残す。

■ 雑木林等は、管理(落葉対策)・防犯の観点に配慮する

- ・既存道路の並木の保全、伏見道路には農家な並木を配する。
- ・緑、雑木林等多いのも良いが死角になると思う。
- ・安心安全対策 パトロール強化 特に不審者対応、子ども達の見守り。

■ 道路

- ・車が増えると思われるので既存の生活道路は減らさないように。
- ・この際に周辺地域の電線を地下化する。

■ その他

- ・他地域にお住まいの方々が北野の住人のことを考えた話をしてくれていることがすばらしかった。(北野の住民の意見を聞かずにかってなことは言えないとのこと)
- ・整備は国と三鷹・調布・世田谷で十分に協議する

テーマD. 将来のジャンクション周辺地域のまちづくり

【議論の概要】

テーマ D でも、地域へ配慮した提案が多く出された。道路整備については、車よりも人や自転車へ配慮した道づくり、バリアフリーを充実させたまちづくりが提案された。また、整備に合わせて周辺のライフライン(ガス、下水、電線地中化など)の充実なども提案された。

交通量増加による騒音対策では、防音壁(柵)や街路樹の他、建物による効果などの検証も提案された。

事例写真を見ながら、農産物をテーマにした農産物販所やレストランの話も出たが、現在ある緑化センターがその機能を持っており、北野地域の農産物もそこに出荷していることから提案にはあがらなかった。

また、中川遊歩道沿(図示ヶ所)には、かつて湧水があったそうであり、その利活用があげられた。

【重要と思われる意見】

- ① 50年後を見すえた道路構造(自転車道、道幅、遊歩道)【19 枚】
- ② 徹底的なバリアフリー (段差、歩道橋にエレベーター、お年より、こども、障害者に配慮)【5 枚】
- ③ 新しい道路には街路樹を植える(常緑樹)【1 枚】
- ④ 交通量増加に伴う騒音対策(柵、樹木、建築物)【4 枚】
- ⑤ 道路建設に伴うライフライン整備 (電線の地中化、電気ガス水道網の充実)【13 枚】

【残したい意見】

①湧水に注意(昔はあった)

【話し合いの全意見】

■ 50年後を見すえた道路構造(自転車道、道幅、遊歩道)

- ・外環敷地内、外の新設される道路について 50年後を見据えた道路設計を考えてもらいたい。道幅等も
- ・自転車道を設ける。
- ・外環敷地内の道路巾が狭い もう少し広く。

■ 徹底的なバリアフリー（段差、歩道橋にエレベーター、お年より、こども、障害者に配慮）

- ・徹底的なバリアフリー お年より、子ども 障がいを持たれた方に配慮。
- ・補償道路などで新規の歩道橋を設置する場合はエレベーター完備。

■ 新しい道路には街路樹を植える（常緑樹）

- ・新しい道路にははば広い遊歩道と高い樹木を植えて欲しい。
- ・ガードレールの代わりに街路樹を植え 歩道は広く
- ・常緑樹(落ち葉の問題)（街路樹）

■ 交通量増加に伴う騒音対策（柵、樹木、建築物）

- ・交通量増加に伴い騒音が増えそう。⇒騒音を減らすための柵(?)樹木(?)を。
(高い建築物も効果?)

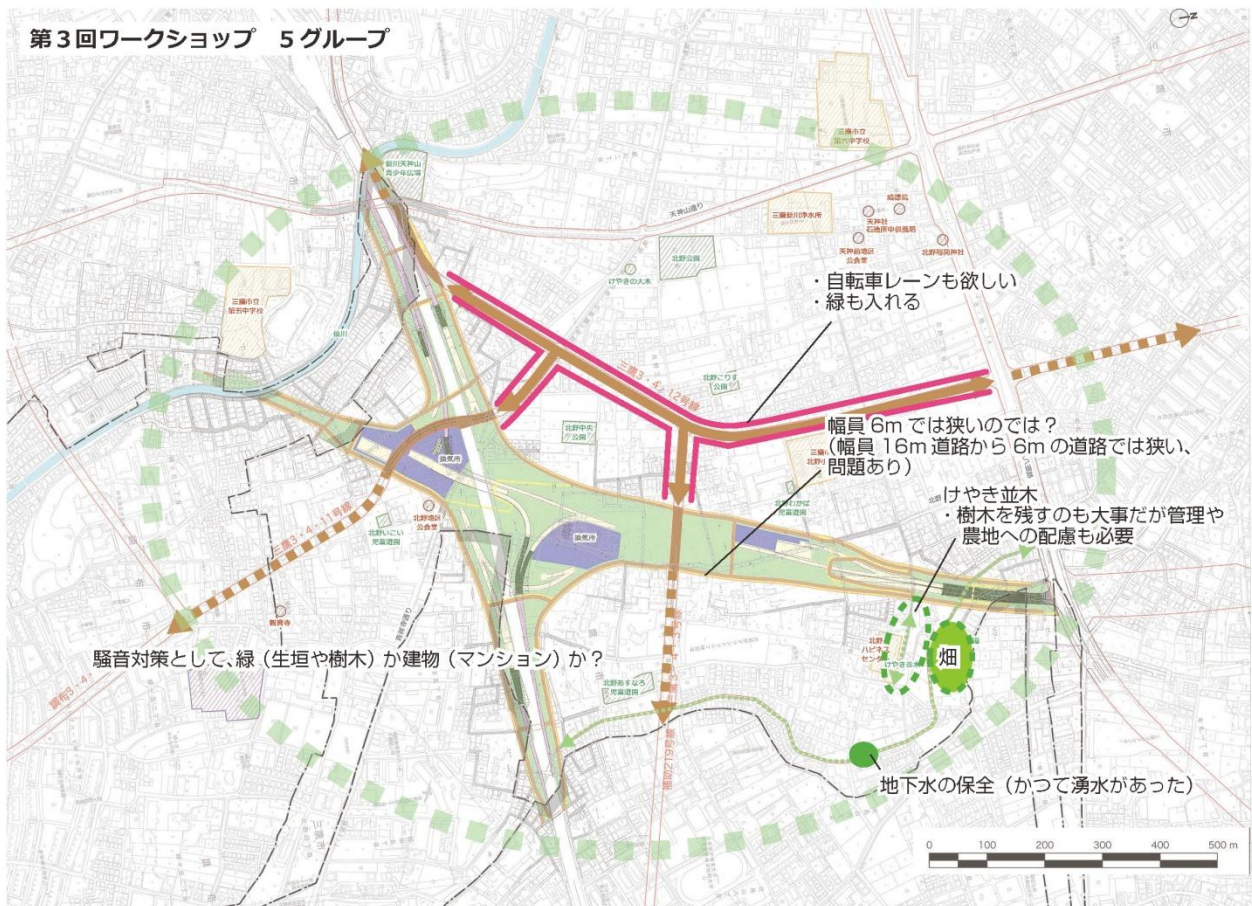
■ 道路建設に伴うライフライン整備（電線の地中化、電気ガス水道網の充実）

- ・この地域を優先に電線を地中化して欲しい。
- ・地域のライフラインの充実化について

■ その他

- ・湧水注意(昔はあった)

第3回ワークショップ 5 グループ



6) グループ6の記録（参加者6名）

テーマC. ジャンクション周辺地域の特性・資源

【議論の概要】

農地や並木道、雑木林などの緑が多くあることが地域資源との意見が多くあった。並木については、現在あるケヤキを残した方が良いか、落葉樹であるため残さない方が良いか議論された。

中川遊歩道については、利用者をもっと増やす拠点が必要であるとの活用アイデアの議論もあった。

直売所については、地域に必要であり、16mの都市計画道路沿線に直売所を置く場合は、設置補助金等を出すなどの活用アイデアも出された。

土地にアップダウンが少ないことについては、自転車での移動がしやすく、また、交通量が少ないことから、交通事故が少なく、子どもも安心して通学できる環境であり、生活環境が良いとの意見が多くあげられた。ただ、今後、都道の延伸整備の予定が決まっていないことから、生活道路に通過交通が入り込んでしまう可能性を危惧する声が多くあげられた。

地縁社会のまとまりについては、町会が1つなのでコミュニケーションがうまく取れているなどの意見が多くあげられた。また、公会堂はこの町会の拠点となっているので、今後の移転や広場のありかたなどについて気にされる発言も多くあった。

【重要と思われる意見】

- ①農地や並木道、雑木林などの緑が多い【12 枚】
- ②生活に密着した集いの場がある【5 枚】
- ③生活環境が良い（アップダウンが少ない、交通量が少ない）【5 枚】
- ④地縁社会が良いまとまりとして活んでいる（町会が1つ）【14 枚】

【残したい意見】

- ①スポーツ広場

【話し合いの全意見】

■農地や並木道、雑木林などの緑が多い

- ・けやきの太木
- ・けやき並木
- ・水辺（仙川？）
- ・緑が多い
- ・竹林 農地が多い
- ・雑木林

- ・屋敷林（良いところ）

■生活に密着した集いの場がある

- ・公会堂（盆踊、祭礼）
- ・中川遊歩道
- ・公園
- ・公園が多い
- ・直売所が多い

■生活環境が良い（アップダウンが少ない、交通量が少ない）

- ・アップダウンが少ない
- ・交通事故が少ない
- ・交通量が少ない
- ・子ども達が安心して通学できる
- ・生活環境が良い

■地縁社会が良いまとまりとして活づいている（町会が1つ）

- ・町会が1つ
- ・地域のまとまりが良い

■スポーツ広場

- ・スポーツ広場
- ・北野スポーツ広場

テーマD. 将来のジャンクション周辺地域のまちづくり

【議論の概要】

回遊できる散策コースについては、多くのアイデアが交わされた。中川遊歩道をコースの一部にするほか、新規整備の16mの都市計画道路の歩道もコースに加えるアイデアなど活発な意見が交わされた。整備は石畳などにして、景観にも配慮した整備にしたいとの意見もあった。また、自転車道と歩道を分離した整備の要望意見も多かった。

沿道の並木については、テーマCの時と同様、ケヤキと落葉の問題が議論された。その後、「果樹ロード」というキーワードが出てからは、具体的な品種についての意見交換などが行われた。（柑橘系は甘くするのが難しいが、食べられるのが楽しい。キウイは棚をつくらなくてはならないので並木には向かないなど）

道路の形態については、電線地中化、歩車道分離などの具体的なアイデアが交わされた。また、ガードレール等には、自然素材を使用するなど、素材選びについても意見があった。

緑地帯については、沿道の民間の土地にも緑地帯を設けられないかとのアイデアが出された。開発指導要綱などについて詳しい参加者がおり、現状でも開発の場合は、緑地が担保されるので、これを沿道に持ってくるようにできないかとのアイデアが交わされた。

都道の延伸については、交通環境を守るために早急に進めてほしいとの意見があった。

また、整備するのなら品の良い美しいまち並みにすべきとの意見があった。（目黒のツタヤ付近のまち並みのイメージ）

最後に「ジャンクション蓋かけ上部に地域コミュニティを集約する」について意見が添えられた。

【重要と思われる意見】

- ① J C T 周辺を周遊する散策コース【15 枚】
- ② 沿道に並木を作る（桜、落葉しない木、果樹ロード）【6 枚】
- ③ 人にやさしい道作り（電柱をなくす、車歩道分離 等）【15 枚】
- ④ 沿道の民地境界に緑地帯をもうける【6 枚】
- ⑤ 都道の延伸を進める【9 枚】

【残したい意見】

- ① 品の良い街作り
- ② J C T 蓋掛上部に地域コミュニティを集約する

【話し合いの全意見】

■ J C T 周辺を周遊する散策コース

- ・休憩スポット（ベンチ等）
- ・緑道の整備
- ・散歩 散策コース
- ・石畳

■ 沿道に並木を作る（桜、落葉しない木、果樹ロード）

- ・道端に食べられる木や草を植える
- ・桜並木を作る（都道）
- ・果樹ロード レモンなど
- ・落葉しない木の並木

■ 人にやさしい道作り（電柱をなくす、車歩道分離 等）

- ・自転車道の整備
- ・車歩道が分かれている方が良い
- ・電柱をなくす
- ・ガードレール等自然素材を使用する

■ 沿道の民地境界に緑地帯をもうける

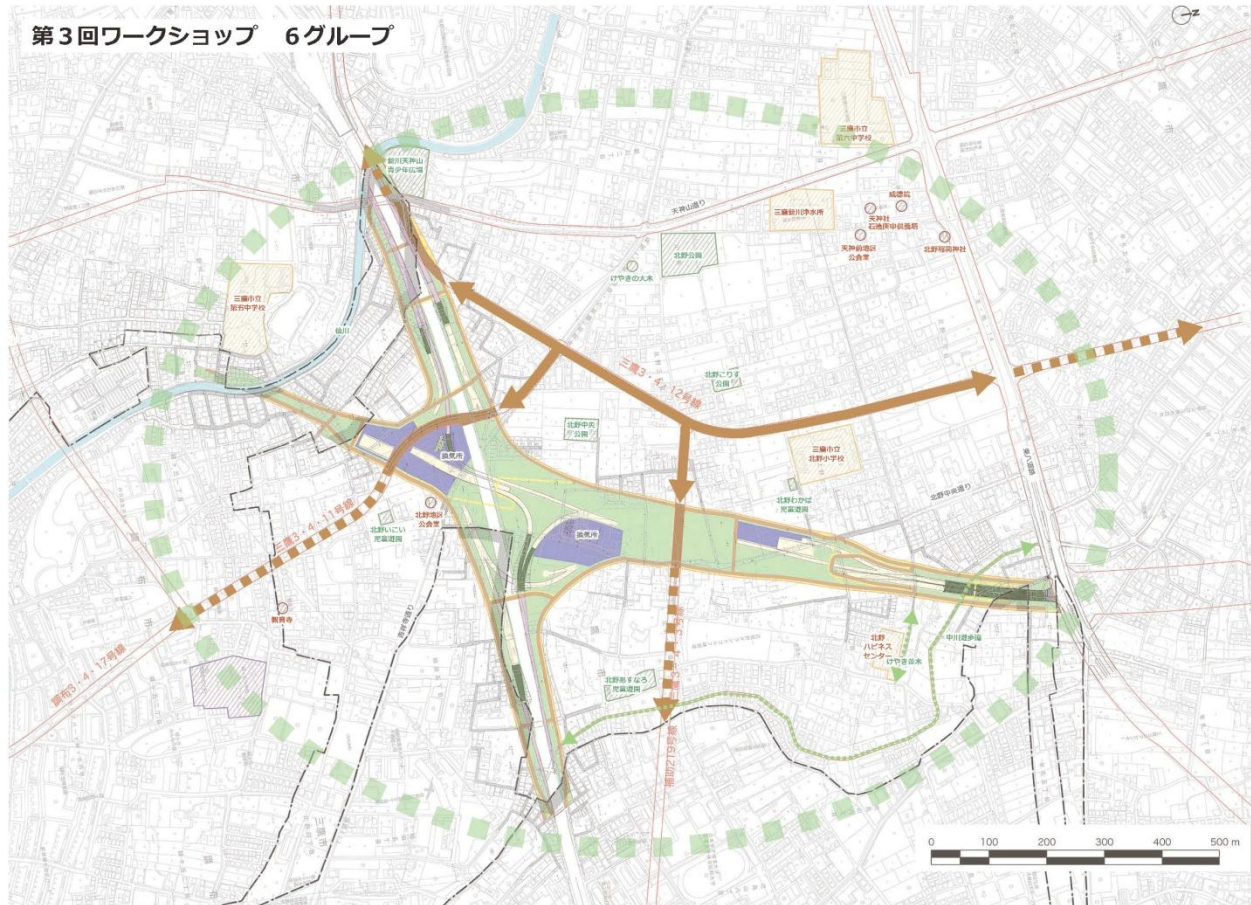
- ・現状（緑の多い環境）に合わせた街作り
- ・沿道の民地境界部に緑地帯をもうける

■都道の延伸を進める

- ・都道の延伸を進める

■品の良いまちづくり

- ・品の良い街



7) グループ7の記録（参加者6名）

テーマC. ジャンクション周辺地域の特性・資源

【議論の概要】

仙川は清流でカワセミを見に来る人も多く、湧水も多い。これは北野の地域が畑と雑木林が多く、雨を浸透させることができるためである。そのことから、水源を守るため、雨水の浸透を守りたいという意見が多かった。

ワークショップ第1回のまち歩きで見た大きな「けやき」や「けやき並木」を残したいという意見があった。中川遊歩道という資源もあり、守って残していきたいがジャンクションの入口に重なっているため、どの様になるか職員に聞いたところ、スロープなどになるが遊歩道は残る事を確認できた。

第1回のまち歩きでの印象として、広々とした農村風景がこの土地の特徴であるという話が出た。ジャンクションの計画は、緑化の話があるから前向きに捉えており、可能な限り農村風景のある現状を残すという議論になった。また、北野でできた農作物を提供できるレストランがあってはどうかというアイデアが出た。

近くにコミュニティセンターがあり、年間10万人の利用者があるので、移動での安全を守りたいという意見があった。そのためにも、道路（一般道）を安全に歩けるよう見直してほしいという意見があった。

北野地域外からの参加者は、東八道路しか通ったことがなく、沿道の商業施設が北野地域のイメージだったので、三鷹市内で東と西の交流のための場をつくるというアイデアが出た。

【重要と思われる意見】

- ①仙川の湧水が渇れない様に守りたい【11 枚】
- ②けやきの大樹と並木を切らずに残したい【7 枚】
- ③中川遊歩道を守っていく【2 枚】
- ④広々と感じる農地・景観を残す【11 枚】
- ⑤この地域の集会場などの安全・安心を確保する【11 枚】

【残したい意見】

- ①北野の大地でできた農作物を提供できるレストランを作る
- ②三鷹市内で東と西で交流がないので、どうにかして交流の場を作る
- ③東八道路沿には商業施設が多い

【話し合いの全意見】

■仙川の湧水が渴れない様に守りたい

- ・仙川の清流を守りたい
- ・水資源のかく保
- ・水流（源）を守ってほしい
- ・地下水が守れるか？
- ・湧水が渴れないようにしてほしい
- ・樋口揚水場の水量確保
- ・豊かな水資源をつかった地ビールの作成

■けやきの大樹と並木を切らずに残したい

- ・現在のけやきの大樹を切らずに残す
- ・けやき並木を残したい

■中川遊歩道を守っていく

- ・中川遊歩道を守る！
- ・中川遊歩道を守れるか？（歩道橋）

■広々と感じる農地・景観を残す

- ・可能なかぎりの現状を残す
- ・40年前は大反対、緑化があるから前向
- ・広々と感じる農地を残したい
- ・景観が変わる
- ・田畑を多少守れる

■この地域の集会場などの安全・安心を確保する

- ・コミセン（新中）来館者 10 万 5 千人（年間）の安全確保を
- ・10 万人が利用（コミセン）

■北野の大地でできた農作物を提供できるレストランを作る

- ・北野の大地でできた農作物を提供できるレストランをつくる！

■三鷹市内で東と西で交流がないので、どうにかして交流の場を作る

- ・三鷹市内で東と西で交流がない

■東八道路沿には商業施設が多い

- ・東八道路沿いは商業施設が多い

■その他

- ・道路（一般道）を見直してほしい

テーマD. 将来のジャンクション周辺地域のまちづくり

【議論の概要】

道路は人が歩いてすれ違える幅の歩道を確保し、自転車道もある安全安心な道路にしてほしいという意見があった。また、世田谷区との境で道路の幅が変わってしまわないようにしてほしい

という意見、天神山通りのように樹木のある並木通りが好ましいという意見もあった。

北野地域がジャンクションにより4分割されてしまわないため、地域で必要があれば、公会堂を新たにジャンクションの真中につくるアイデアが出た。他に、北野地域が一つになれる施設として、北野スポーツ広場はスペースがとれそうな三鷹3・4・3号線の近くに配置する意見が出た。

用途地域としては、住宅地なので、新しい道路ができたり整備されたりしても、周辺の用途地域は現状のまま変更しないことを強く望む意見があった。

道の駅は好ましいが、商業施設としては車での来街者の動きも考え、現在も商業施設のある東八通り沿いに置くアイデアが出た。扱う商品は、北野の野菜や三鷹の産品など、いつ来ても楽しめるための工夫で議論になった。

第2回で出た太陽光パネルの話から、太陽光の他に、小さな風車や地熱など可能な自然エネルギーすべてを検討し、北野地域を自然エネルギーの町としてはどうかというアイデアが出た。

並木の緑として、ハナミズキが好ましいのではないかと、落葉樹のケヤキもよいが住民の苦情が出る可能性もあると、議論になった。また、クヌギの林をつくりたいとの意見もあった。

【重要と思われる意見】

- ①生活道路の安全・安心を確保する（歩道・自転車道・通学路を考えて）【13 枚】
- ②北野が4分割されてしまうので スポーツ広場・公会堂などをひとつになれる 地域の最中につくる【13 枚】
- ③住宅地に出来るジャンクションなので 住宅地域の高さを 10m 以下を確保する【2 枚】
- ④三鷹の農産物を売る「道の駅」などの施設を東八道路ぞいに作る【7 枚】
- ⑤北野の町を自然エネルギーの町とする（太陽光 地熱）など【8 枚】

【残したい意見】

- ①計画道路の並木は管理しやすい 楽しめる木を考える くぬぎ林、はなみずきなど
けやきは住民の苦情が出る可能性も指摘された

【話し合いの全意見】

- 生活道路の安全・安心を確保する（歩道・自転車道・通学路を考えて）
 - ・6m の道路は歩道を確保する
 - ・生活道路として安心・安全な道路を作る
 - ・三鷹3・4・3道路 三鷹・世田谷区の境をなくし、世田谷区とのハイガイがある
 - ・三鷹3・4・12号線について自転車道・歩道を分けてほしい

- ・北野小学校の通学路 安全・安心確保する
- ・天神山通りなみに並木通りを作る
- ・歩道・サイクリング・ランニングロード

■北野が4分割されてしまうので スポーツ広場・公会堂などをひとつになれる 地域の最中につくる

- ・北野が4分割されるので、ひとつになる様なもの（スポーツ広場）
- ・最中へんに公会堂をもうひとつ作る

■住宅地に出来るジャンクションなので、住宅地域の高さを10m以下を確保する

- ・住宅地に出来るジャンクションなので第1種中高層のままにして
- ・第2種中高層にしない

■三鷹の農産物を売る「道の駅」などの施設を東八道路ぞいに作る

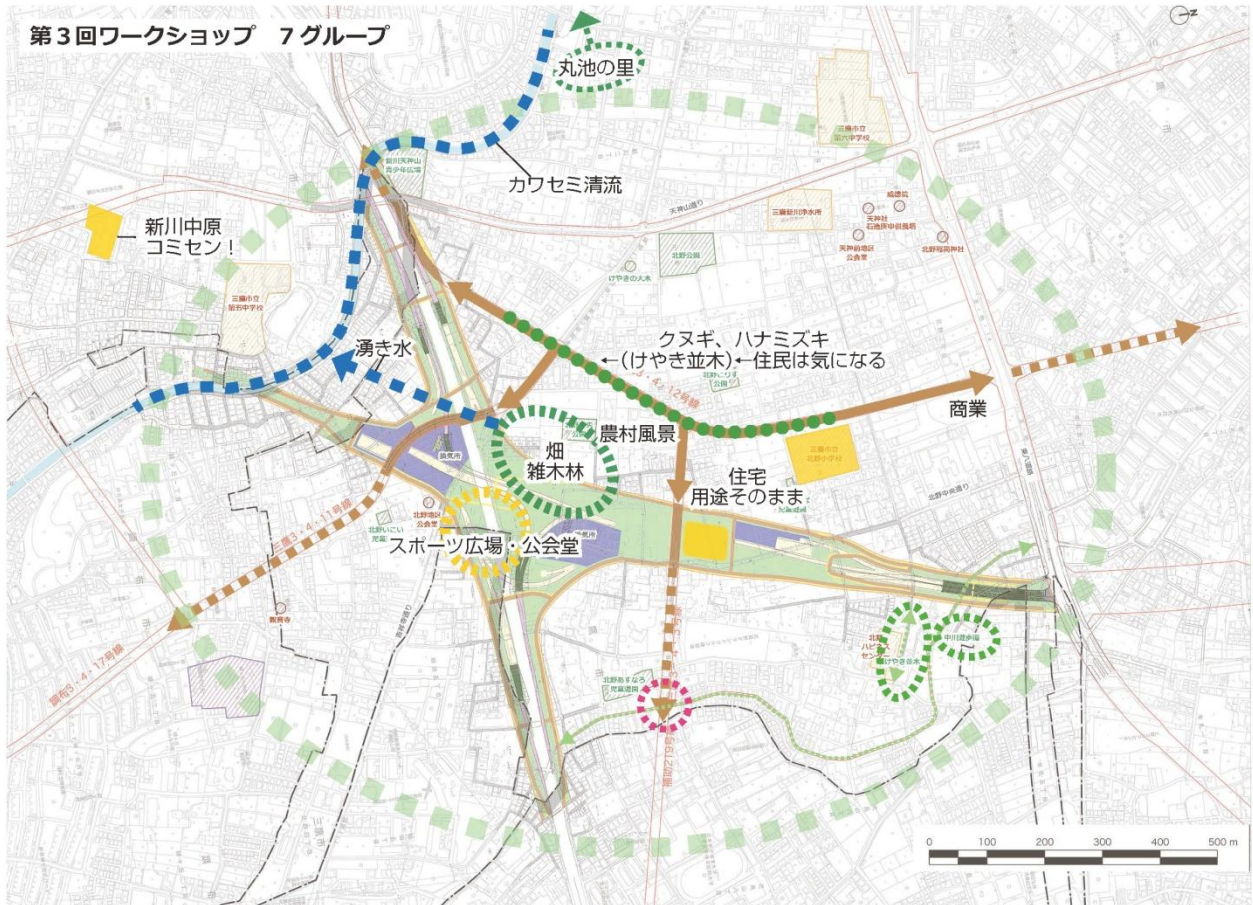
- ・道の駅（直売所）
- ・地産品目を作る
- ・三鷹周辺の物産も
- ・駐車場問題
- ・駐車場の確保
- ・日本の四季→特色のある産品
- ・アウトレット
- ・北野の農家で作った農作物
- ・季節によってある、なし
- ・車や人の導線

■北野の町を自然エネルギーの町とする（太陽光、地熱）など

- ・太陽光エネルギーパネルを排気塔に
- ・地下道路から発する地熱を自然エネルギーとして活用

■計画道路の並木は管理しやすい、楽しめる木を考える（くぬぎ林、はなみずきなど、けやきは住民の苦情が出る可能性も指摘された）

- ・くぬぎ林がほしい
- ・はなみずき通りがあったらなあ・・・
- ・けやき並木にする
- ・けやきの里のイメージ



8) グループ8の記録（参加者5名）

テーマC. ジャンクション周辺地域の特性・資源

【議論の概要】

グループには北野地域の農家の方がおり、北野地域の一番の特性としての「農」の風景を守ることの難しさに関する意見交換が行われた。「せっかくジャンクション整備にあわせてまちづくりをするのだから、農の風景があるまちづくりをしてほしい」「蓋かけ部分に施設などをつくっても、交通が不便なままでは誰も来ない。交通アクセスの改善が必要ではないか」という意見が出される一方、「交通不便な土地だからこそ、これまで農地や自然が残ってきたが、利便性が高くなると農地や自然を残すことが難しいのではないか」という意見が出された。「農の風景」、「自然の保全」や「交通アクセスの改善」を両立するまちづくりの検討の必要性を感じる意見交換となった。また、市民農園、体験農園などで生みだされる風景は、栽培される作物も規模も異なり、北野の原風景である「農」の風景とは全く異なるものではないかという指摘もあった。

子どもが楽しめる場所として、既存公園などの施設の復活や「丸池の里」「大沢の里」「牟礼の里」のような「北野の里」として整備を求める意見もあげられた。

また、中川遊歩道や北野ハピネスセンター前のケヤキ並木などはジャンクションで分断されることなく、つなげられるとよいという意見が交わされた。

【重要と思われる意見】

- ①子供が楽しめる場所【9 枚】
- ②農の原風景【17 枚】
- ③残したい風景（中川遊歩道、けやき並木通り）【4 枚】
- ④子どもの安全【13 枚】
- ⑤自然と人の流れの調和【5 枚】

【残したい意見】

- ①新しい小学校（建て替え）
- ②北野公会堂の建て替え

【話し合いの全意見】

■子供が楽しめる場所

- ・いなかみたいな子どもの遊び場
- ・遊び場広場（バーベQ など出来る所）
- ・新川天神山青少年広場

- ・新川天神山青少年広場
- ・オリンピックに向けてのスポーツの場所
- ・北の里公園

■農の原風景

- ・農の風景
- ・体験農園、市民農園、子ども農園
- ・農園ファーム
- ・成光園の造園
- ・北野公会堂

■残したい風景（中川遊歩道、けやき並木通り）

- ・中川遊歩道
- ・中川遊歩道
- ・遊歩道にそって桜並木…等
- ・北野ハピネス通りのけやき並木
- ・けやき並木

■子どもの安全

- ・子どもの安全
- ・新しい小学校建てかえ

■自然と人の流れの調和

- ・自然や農地を残すその為には交通の便（バスなど）をこれ以上良くしない。交通の便が良くなると自然は消えてゆく
- ・車の流れが変わるのは調査済みですか？
- ・交通のアクセスを作って欲しい

■その他の意見

- ・新しい小学校（建て替え）
- ・北野公会堂の建て替え

テーマD. 将来のジャンクション周辺地域のまちづくり

【議論の概要】

北野地域の方を中心に、北野地域が4つに分断されることへの解決策を求める意見が多く上がった。

「安全・安心」として、ジャンクション整備によって失われる交番の再整備や通学路についての意見が寄せられた。小学校・中学校への通学路については、現在のプランではバリアフリーや車道の勾配から迂回せざるを得なくなっているが、車いす・自転車・車両のルートとは別に階段を設けて移動距離を短くできないかという意見が示された。このような問題意識から、北野小学校も築43年と老朽化が進んでいるので、蓋かけ部分に移設できないかという提案が出された。生活道路は、安全面から自転車道と歩行者道は別に設けたいという意見も出された。

一方、ジャンクションの外周部などは、ジョギングコースやサイクリングロードなどとしレクリエーションの場としたいという意見が多く出された。

商業施設として、参考写真にあるような広場を伴ったファーマーズマーケットを設け、地域の野菜や果物を販売できるとよいという意見が寄せられた。

新たに整備される都市計画道路沿いなどは、桜並木とするなど、新たな地域のシンボルを生みだせるとよいという意見が出された。蓋かけ部分の中央付近にもモニュメントがあるとよいのではというアイデアが寄せられた。

都市計画道路整備により、地区内に通過交通が流入することに懸念が示された。地区内の街路が裏道にならないように、東八道路沿いには倉庫や流通施設、ロードサイドショップなど商業施設を集約したいという意見が交わされた。

【重要と思われる意見】

- ①安全・安心（交番・子どもの安全）【12 枚】
- ②商業施設（ファーマーズマーケット）野菜／果実【9 枚】
- ③生活補償道路（孤立しない）【7 枚】
- ④機能補償道路（遊歩道・サイクリングロード）【12 枚】
- ⑤シンボルマーク（モニュメント、桜並木）【2 枚】

【残したい意見】

- ①東八道路に商業、流通施設の集約

【話し合いの全意見】

■安全・安心（交番・子どもの安全）

- ・ふたかけ部分 新しい小学校を含む総合施設
- ・交番を数多く欲しい
- ・子ども安全

■商業施設（ファーマーズマーケット）野菜／果実

- ・ファーマーズマーケットと子供が遊べるスペース
- ・お店の数を増やし地元をうるおす
- ・倉庫・流通施設は東八道路に作る

■生活補償道路（孤立しない）

- ・自転車専用 生活道路
- ・安全でスムーズな通学路
- ・歩行者専用 生活道路
- ・孤立のしない地域

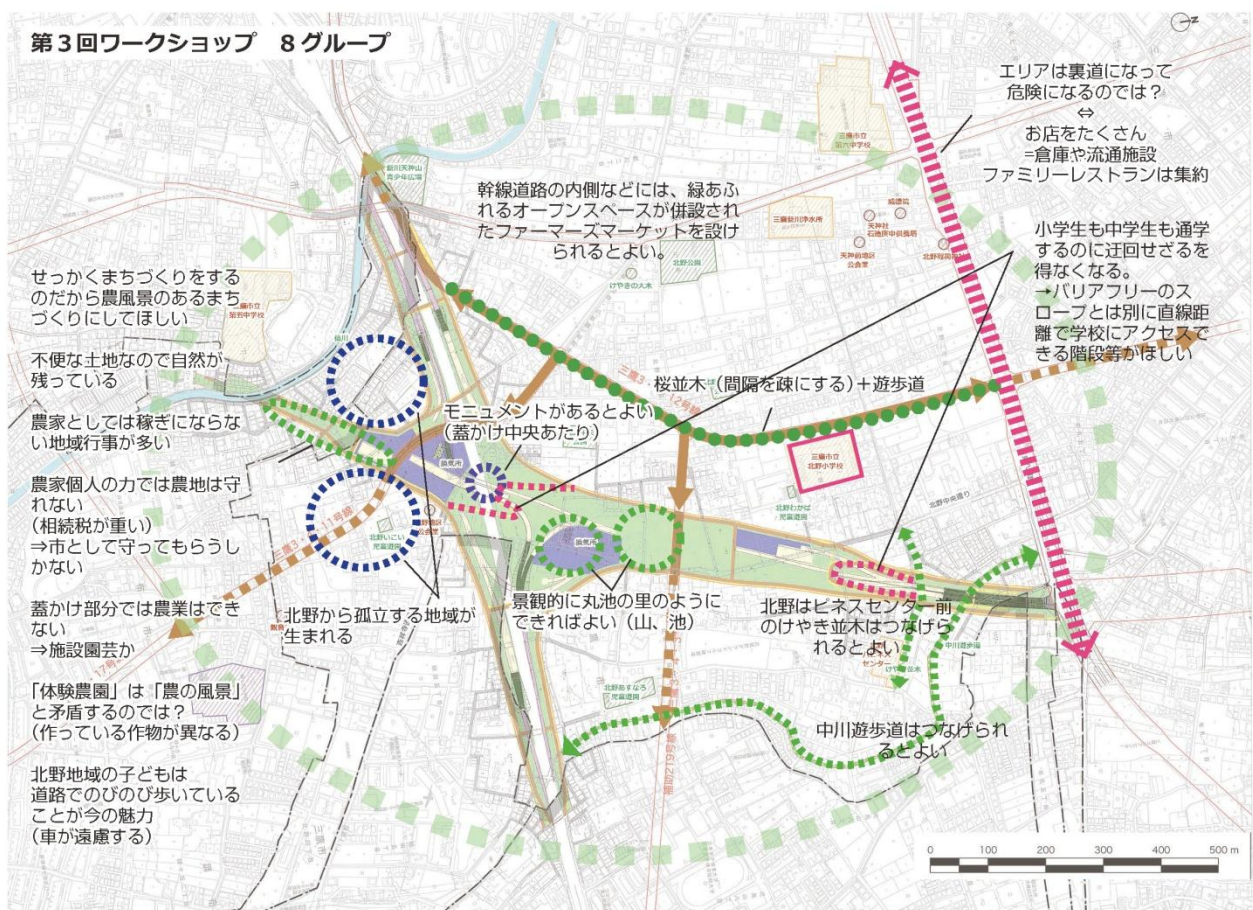
- ・小学生の通学路は時間帯で通行止めもよいのでは？

■機能補償道路（遊歩道・サイクリングロード）

- ・周辺道路に遊歩道、ジョギングコース、サイクリングロード等の併設
- ・遊歩道
- ・遊歩道とサイクリングロードを別にして（安全のため）
- ・周辺道路沿いには高層建築は駄目
- ・やすらぎの並木道
- ・サイクリングロード

■シンボルマーク（モニュメント、桜並木）

- ・桜並木を作る
- ・モニュメントを作る
- ・季節の花 花畑



北野の里（仮称）を中心としたまちづくりワークショップ運営事務局
主催者 三鷹市 共催者 国土交通省 東京都
協力者 東日本高速道路株式会社 中日本高速道路株式会社

問い合わせ

三鷹市都市整備部まちづくり推進課
〒181-8555 三鷹市野崎 1－1－1
電話 0422－45－1151（2864・2865）

